

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)

為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

第33期分配金のお知らせ

2018年1月18日

平素は、『通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2018年1月18日に決算を迎え、「ブラジル・リアル・コース」および「通貨セレクト・コース」につきましては分配金額を見直し、当期の収益分配金(1万口当たり、税引前。以下同じ。)をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

「為替ヘッジなしコース」および「日本円コース」の分配金額につきましては、前回決算と同額と致しました。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《各コースの分配金(1万口当たり、税引前)》

2018年1月18日現在

	為替ヘッジなしコース	日本円コース	ブラジル・リアル・コース	通貨セレクト・コース
当期決算 分配金	25円	25円	70円	60円
(前回決算 分配金)	(25円)	(25円)	(100円)	(80円)
基準価額	9,146円	9,566円	7,674円	6,872円

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

分配方針

『通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)』の収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ②原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

Q1 なぜ、「ブラジル・リアル・コース」および「通貨セレクト・コース」の分配金が見直されたのですか？

A1 現在の配当等収益および分配対象額の状況などを考慮した結果、今後も継続した分配を行い、信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の見直しが必要との判断に至りました。

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状況、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金を決定するというものです。

「ブラジル・リアル・コース」および「通貨セレクト・コース」の分配金を見直したのは、現在の配当等収益および分配対象額の状況などを考慮した結果によるものです。

ブラジル・リアルの対円為替レートは、市場のリスク回避的な動きが強まり、円が買われる展開になったことなどから、軟調に推移しました。また、「通貨セレクト・コース」で選定した取引対象通貨は、対円でまちまちな動きでしたが、おおむね低下傾向となりました。それに伴い、各コースの配当等収益は低下傾向にあります。

各コースでは、第1期決算(15/5/18)以降、「ブラジル・リアル・コース」で100円、「通貨セレクト・コース」で80円の分配金を継続しておりましたが、それぞれの分配金のうち期中の配当等収益を超える額は過去の蓄積等から充当してまいりました。その結果、各コースとも分配対象額は徐々に減少してきております。

このような状況を踏まえ、今後の継続した分配や信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の見直しが必要との判断に至りました。今回、分配金を見直したことによる差額はファンドの純資産に留保されることとなります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

《基準価額・純資産・分配の推移》

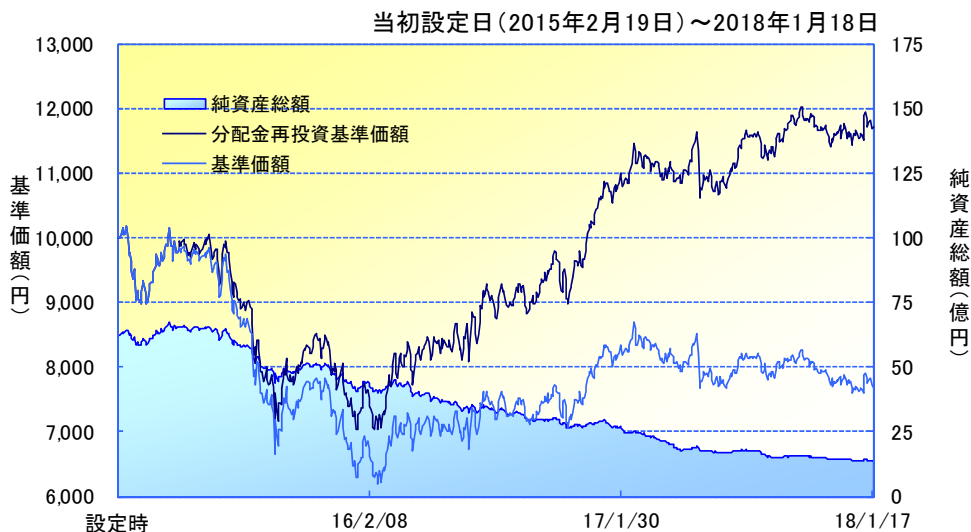
【ブラジル・リアル・コース】

2018年1月18日現在

基準価額	7,674円
純資産総額	13億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～28期	合計:	2,800円
第29期	(17/9/19)	100円
第30期	(17/10/18)	100円
第31期	(17/11/20)	100円
第32期	(17/12/18)	100円
第33期	(18/1/18)	70円
分配金合計額	設定来:	3,270円
	直近5期:	470円



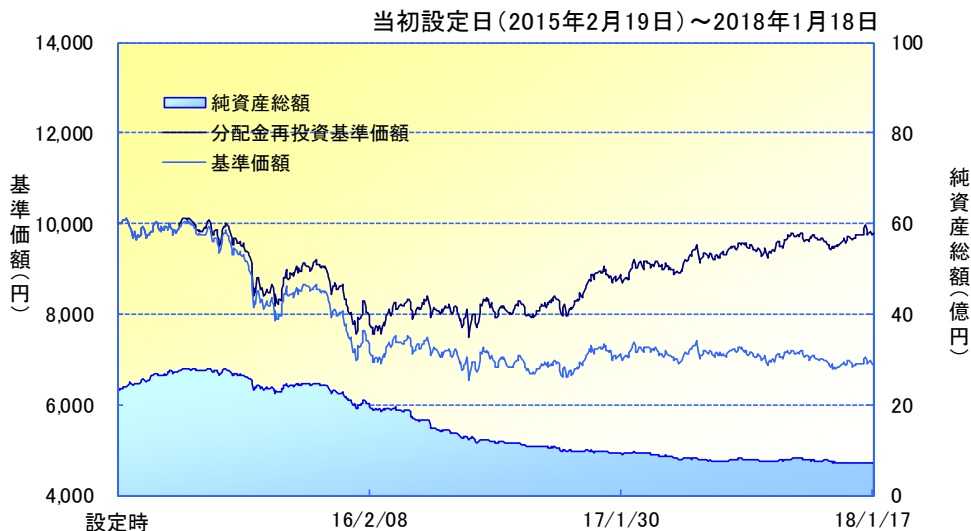
【通貨セレクト・コース】

2018年1月18日現在

基準価額	6,872円
純資産総額	669百万円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～28期	合計:	2,240円
第29期	(17/9/19)	80円
第30期	(17/10/18)	80円
第31期	(17/11/20)	80円
第32期	(17/12/18)	80円
第33期	(18/1/18)	60円
分配金合計額	設定来:	2,620円
	直近5期:	380円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q2 分配金はどのように決定したのですか？

A2 分配金は、収益分配方針に基づいて、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

当ファンドの収益分配方針において「原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて分配金は、今後ある程度の期間にわたって分配を継続できるよう配慮して決定しています。

ただし、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特に分配対象額の減少、配当等収益の低下、基準価額の下落などは分配金の見直し要因となります。

Q3 分配金を事前に知ることはできないのですか？

A3 決算日(毎月18日、休業日の場合は翌営業日)の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日(毎月18日、休業日の場合は翌営業日)に、ファンドの収益分配方針、配当等収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を勘案して委託会社(大和投資信託)が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

なお、委託会社のホームページ(<http://www.daiwa-am.co.jp/>)では、夕方から夜にかけて基準価額とともに分配金を公表しますので、そちらをご参照ください。

Q4 分配金を引き下げるといことは、今後の運用に期待できないということですか？

A4 分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。

「ブラジル・リアル・コース」および「通貨セレクト・コース」の分配金の引き下げについては、現在の配当等収益および分配対象額の状況などを考慮した結果によるものです。したがって、分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。なお、運用成績は、分配金に加え基準価額の動きも含めたトータルリターン(総収益率)で確認する必要があります。

引き続きパフォーマンスの向上をめざしてまいります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q5 最近の投資環境と今後の見通しについて教えてください。

米国の長期金利上昇がリスク要因ですが、米国における税制改革、好調な企業業績、新興国の景況感の回復などが支援材料になるものと思われます。

A5 また、為替市場においても、米国を中心とした堅調な経済環境、米国の追加利上げへの期待感、日米金利差拡大見通しなどを受けて、取引対象通貨は対円で底堅く推移すると考えます。

【投資環境(2017年1月以降)】

株式市況

世界の株式市場は、上昇しました。2017年以降に、トランプ政権の掲げる減税や金融規制緩和などへの期待が高まったことから上昇して始まりました。その後も、日本を除く先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させたことで長期金利が上昇したこと、北朝鮮情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりなどを受けて調整する局面も見られましたが、米国の堅調な経済指標やトランプ政権の税制改革への期待が高まったこと、米国企業の好調な業績発表などを背景に堅調に推移しました。

債券市況

世界の債券市場において、国債金利はおおむね上昇しました(債券価格は下落)。ECB(欧州中央銀行)が金融緩和姿勢を後退させる中で、ドイツを中心に金利が上昇しました。また、良好な経済指標発表などから、米国の金利はおおむね上昇しました。

ハイイールド債券は、好調な企業業績や投資家の高利回り資産への旺盛な投資需要などが支援材料となり、総じて底堅い展開となりました。

為替市況

(米ドル)

米ドルは対円で下落しました。米国の長期金利の上昇が一服したことなどから2017年4月にかけて下落基調となりました。その後は、レンジでの推移となりましたが、先進各国の中央銀行が金融緩和姿勢を後退させる中で内外の金利差が拡大傾向となったことや米国で追加利上げの可能性が示唆されたことなどが円安米ドル高要因となった一方で、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されて市場のリスク回避姿勢が強まったことやトランプ政権の政策実行能力への懸念が高まったことなどは円高米ドル安要因となりました。

(ブラジル・レアル)

ブラジル・レアルは対円で下落しました。ブラジルのテメル大統領の汚職隠ぺい疑惑、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されて市場のリスク回避姿勢が強まったことで円が買われる展開となったことなどを受けて、ブラジル・レアルは軟調に推移しました。

(選定通貨)

選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。個別国の材料に左右される展開となる中、構造改革期待の高まりが好感されたインド・ルピーや原油価格の上昇がプラス要因となったロシア・ルーブルなどの通貨は対円で上昇しました。一方で、対米関係の悪化が懸念され、政治的不透明感が強まったトルコ・リラなどの通貨は対円で下落しました。

【今後の見通し】

株式市況

世界の株式市場の上ぶれの余地は縮小しているものの、米国における税制改革等が世界的な景気拡大を後押しすると考えます。また、緩やかな物価上昇等を背景に世界の中央銀行の利上げや資産縮小など金融政策の正常化が継続されると考えます。

一方で、市場変動率が低下し、相場水準の上昇が続いていることから、今後何らかのショックが具現化した際の相場への一時的な影響は比較的大きくなると考えています。

債券市況

米国では雇用環境の改善を背景に、FRB(米国連邦準備制度理事会)は緩やかなペースでの利上げやバランスシートの縮小を実施していく見通しです。このような見通しの実現した場合、短期金利を中心に金利の上昇圧力が高まるとみています。一方で、北朝鮮情勢などの地政学リスクが意識される局面や、足元で堅調に推移しているリスク資産価格が調整した場合には、金利低下圧力が高まると考えています。

為替市況

(米ドル)

日銀は現行の金融緩和策を維持する一方で、米国では堅調な経済環境や追加利上げへの期待感が金利の上昇材料であり、日米金利差が拡大するような局面では米ドル円は下支えされやすいとみています。一方で、北朝鮮情勢など地政学リスクが意識される局面や、足元で堅調に推移しているリスク資産価格が調整した場合には、市場のリスク回避的な姿勢が強まり、米ドル円の下落圧力が高まると考えています。

(ブラジル・レアル)

米国など主要中央銀行の金融引き締め姿勢が強まることで、ブラジル・レアルの売り材料となる可能性もありますが、ブラジル経済見通しの改善、原油などの資源価格上昇、相対的に高い金利水準などが、ブラジル・レアルを下支えするものと思われれます。

(選定通貨)

新興国経済は景況感の回復がみられてきており、過去の通貨危機時に比べると、政府債務残高や国際収支バランス、外貨準備高などが大幅に改善するなど、状況は大きく異なっています。通貨の急激な変動に対して政策金利の引き上げなどの政策当局の適切な対応が期待できることが、選定通貨をサポートする材料だと考えています。

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

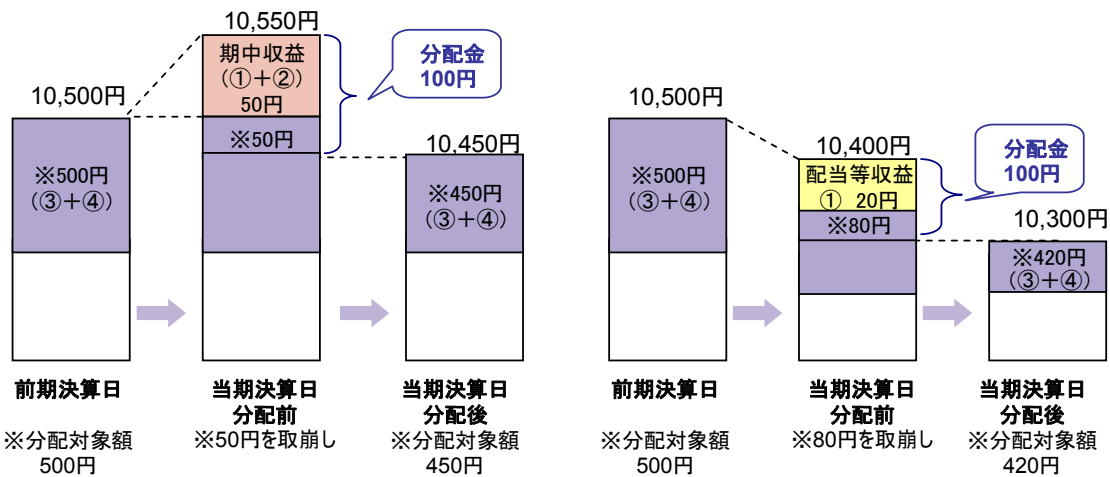


- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合

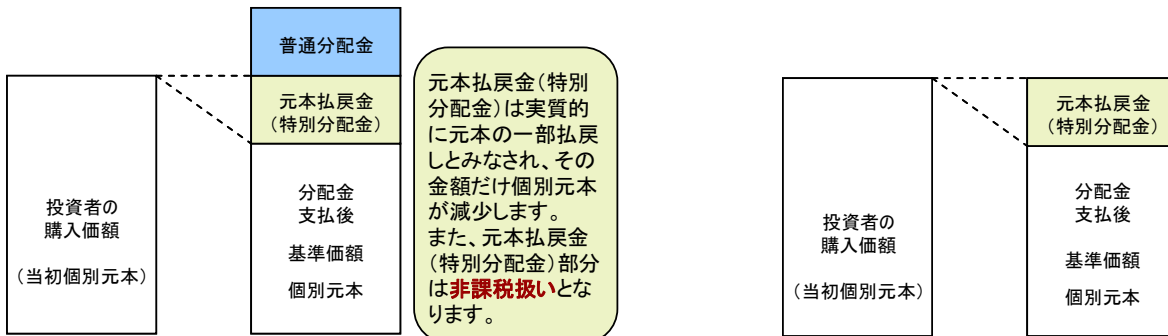


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

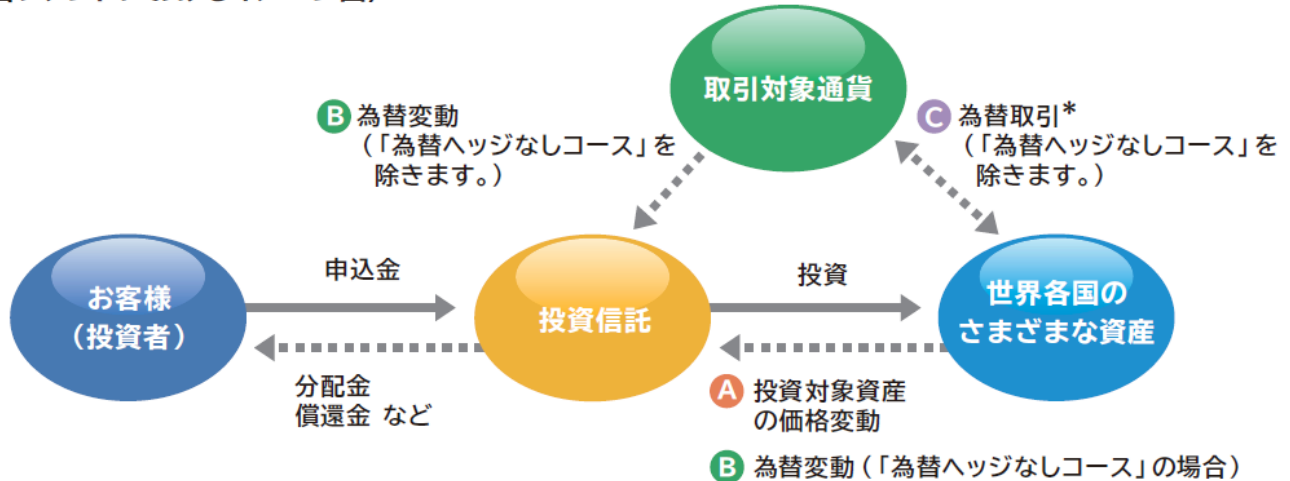
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

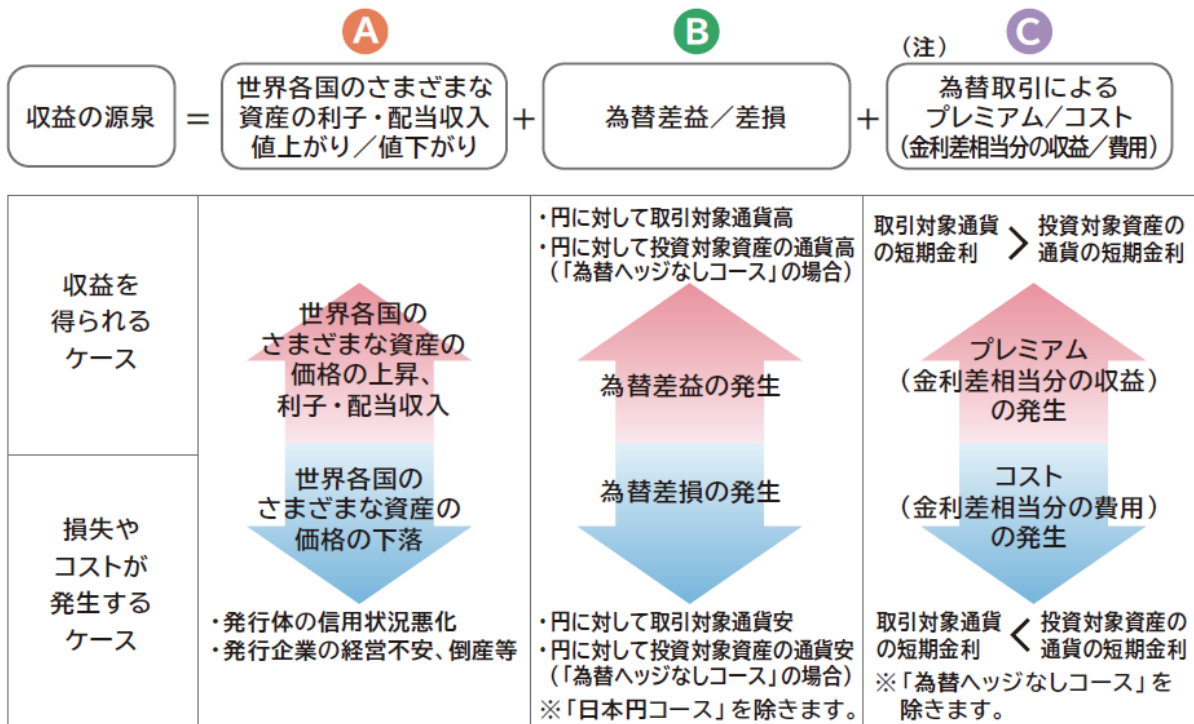
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



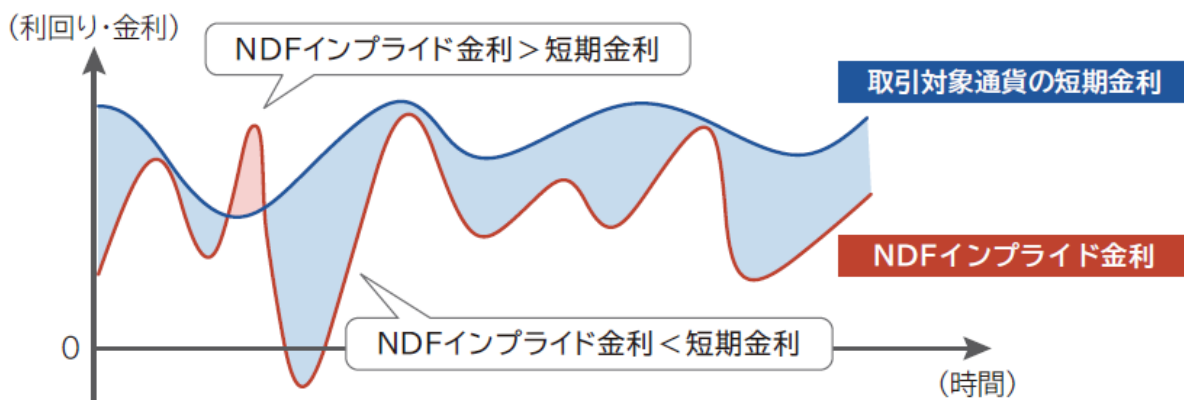
(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際に、プレミアム／コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

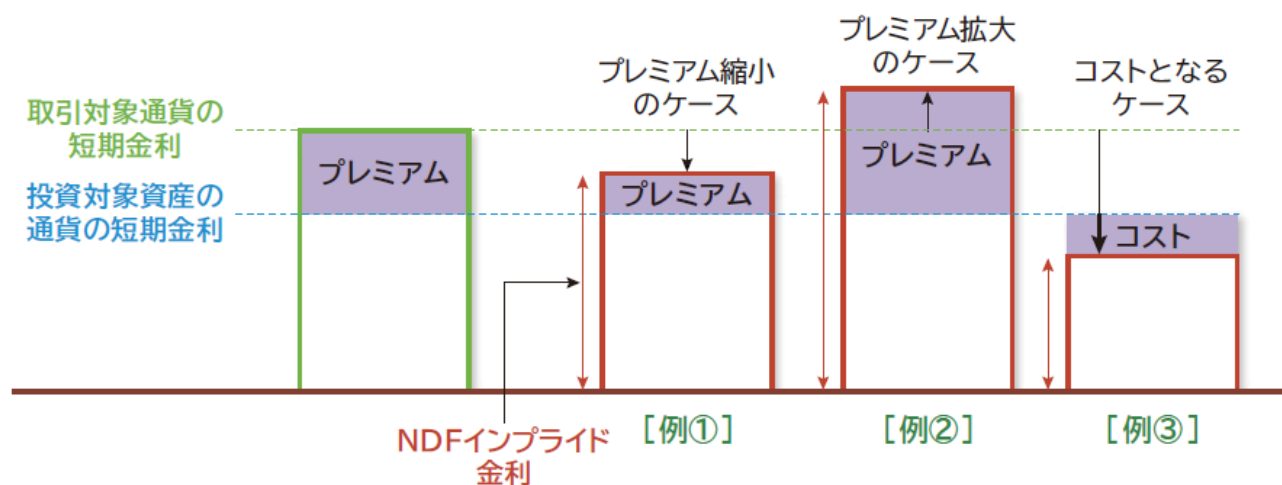
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、**為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】**もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

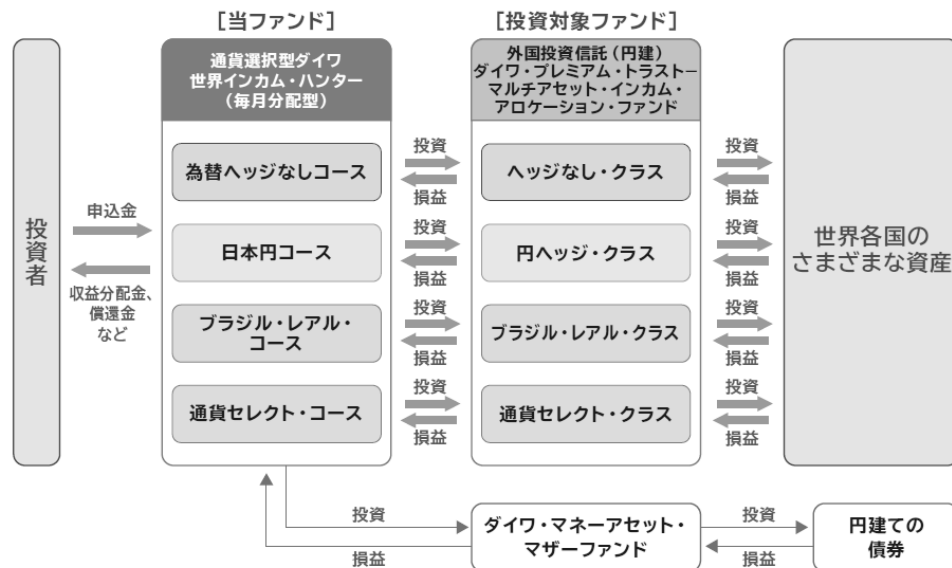
ファンドの特色

1. 世界各国のさまざまな資産に投資します。
 2. 投資環境に応じて、各資産の配分比率を機動的に調整します。
 3. 為替取引を活用します。
- ◆当ファンドには「為替ヘッジなしコース」と為替取引を行なう3つのコースがあります。



※4つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

4. 毎月18日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
 5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆外国投資信託の受益証券を通じて、世界各国のさまざまな資産に投資し、「為替ヘッジなしコース」を除き、投資対象とする資産について為替取引を行ないます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース：為替ヘッジなしコース
通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース：日本円コース
通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・リアル・コース：ブラジル・リアル・コース
通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース：通貨セレクト・コース
- ◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)」とします。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動)」、「為替変動リスク」、「コントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※<為替ヘッジなしコース>は、組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。また米ドル以外の通貨の資産にも投資を行なうため、当該資産の通貨の為替変動の影響を受けます。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※<日本円コース>は、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※<ブラジル・リアル・コース、通貨セレクト・コース>は、取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。投資対象資産の通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する投資対象資産の通貨の為替変動の影響を受けます。なお、取引対象通貨の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※<為替ヘッジなしコース>以外について、投資対象とする資産の通貨のうち一部の通貨について、為替取引が困難、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、為替取引を行なわない場合があるため、取引対象通貨以外の為替変動の影響を受けることがあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース/日本円コース/ブラジル・リアル・コース/通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.215% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	「為替ヘッジなしコース」 年率 0.77%程度 「日本円コース」 年率 0.80%程度 「通貨セレクト・コース」 年率 0.92%程度 この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	「為替ヘッジなしコース」 年率 1.985% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「日本円コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率 2.015% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 年率 2.135% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会